

## 64 イボイボナメジ

(ホソアシヒダナメジ科)

兵庫県ランク:A

*Granulilimax fuscicornis*

環境省ランク:NT

### 種の概要

本州中部から南西諸島にかけて広く分布し、いくつかの隠蔽種が存在するものと考えられている。体長30mmほどのナメジ形をしているが、ナメジ科やコウラナメジ科とは全く無縁の種類である。背面は淡黄褐色で、黒色の環状の筋模様があり、触角は黒い。微小な顆粒状突起が背面全体を覆い、ナメジのようなヌメリは少ない。小型の陸産貝類を捕食する。

### 主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
							○

### 県内分布

神戸市、西宮市、猪名川町、加西市、姫路市、たつの市、豊岡市、養父市、香美町、淡路市

### 県内における生息状況及びその他特記事項

新規追加種。県内では丹波を除く地域で広く散見されるが、確認例は各産地において1個体の場合が多く、再確認も困難である。主に低山地の林床で見つかっている。

### 保護上の留意点

既知産地が散見的であり、個体数も少ないことで存続できない危険性があるが、全国的に同様な状況であることから、種のもつ本来の特性と判断される。保護の方策を特定するのは現状では不可能であるが、自然林や手入れの行き届いたスギ林、社寺林等の保全を行うことで、現状は維持できると考えられる。



写真提供：増田修



【執筆者】 増田修